



Weekly Report Rotary 2019-20

■会長 杉崎 信一	■幹事 一ノ瀬 裕	■会場監督 青木 亜也
例 会 場 〒252-0303	相模原市南区相模大野3-8-1 TEL 042-767-1111(代) 小田急ホテルセンチュリー相模大野8F	
事 務 局 〒252-0303	相模原市南区相模大野3-14-10 第2足立ビル4F TEL 042-746-4108 FAX 042-746-5106	

Vol.49

第2366回例会

No.23

令和2年1月28日

■ゲスト卓話「ロータリー財団について」

財団地区補助金配分・VTT委員会
委員長 中村 眞英 様 (伊勢原平成RC)
委 員 大小原 徹 様 (藤沢RC)

1917年、当時の会長アーチ・クランプが「世界でよいことをする」ための基金をつくるというビジョンを発表し、26ドル50セントの寄付でスタートしました。

ロータリー財団の正式名称は、「国際ロータリーのロータリー財団」です。

ロータリーが、世界の人々の間に相互理解を推進し世界的影響力のある組織としてその義務を果たすためには複数のクラブが協力し、大規模そして効果的な奉仕プログラムを実現する必要性を求められました。

「国際ロータリー」はクラブの運営やロータリアンの方向性やビジョンを構築する役割を担い、「ロータリー財団」がクラブや外部の支援団体と共同でより影響力のある奉仕プロジェクトを実施するための、財源と仕組み作りを担っています。

まさにロータリーは、国際ロータリーとロータリー財団の両輪によって、世界最大の奉仕団体として活動することができるのです。

2007年規定審議会で、国際ロータリー理事会からあらためて次のようなロータリー財団の使命、標語、が採択されました。

■ロータリー財団の使命

ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界平和、親善、平和を達成できるようにすること。

■標語

「世界でよいことをしよう (Doing good in the world)」

■ロータリー財団の財源

ロータリアン・財団支援団体からのご寄付が財源です。

「年間1人200ドル以上の年次寄付、1クラブ1,000ドル以上の恒久基金、

ポリオプラスに1人40ドル以上」

■寄付金の運用と配分

「シェアシステム」と呼ばれる仕組みを通じて、3年後に人道的プロジェクト、奨学金、職業研修チームの活動を支える補助金に生まれ変わります。

年次寄付：全額 + 恒久基金：運用益の一部 = 奨学金・プロジェクト活動資金

第2780地区の直近5年間のロータリー財団寄付金・補助金の収支状況 (平均)

約4,000万円/3年前の年次基金 + 約200万円の恒久基金運用益 = 約4,200万円

分野を問わない奨学金：	250万円	※1名
6つの重点分野を海外で学ぶための奨学金：	1,200万円	※2名〜3名
地域と密着した奉仕プロジェクト補助金：	1000万円	
国際的な大規模な奉仕プロジェクト補助金：	650万円	
平和を学ぶための大学プログラムへの支援：	500万円	
ポリオ根絶のための支援：	600万円	

■皆様の寄付金の使途

皆様からの年次基金として 20,000円 をお預かりした場合の配分モデル。

- ① 優秀な文化人や平和の大切さと平和構築の分野を研究する優秀な人材育成に：7,000円
- ② 6つの重点分野に関わる国際的な支援プログラムに：3,500円
- ③ 地域に密着した奉仕プロジェクトへ：3,500円
- ④ 平和を学ぶ大学プログラムに：3,000円
- ⑤ ポリオ根絶のために：3,000円

※ロータリー財団、そして第2780地区ロータリー財団委員会は、昨今の世界情勢において、「日本の未来を託し、平和構築を実現する優秀な国際人を育てる」ために、皆様の浄財を大切に活用させていただいております。

■ご寄付のお願い

創立以来100年間、ロータリー財団は、教育の支援や持続可能な成果を生み出すプロジェクトに総額30億ドルの資金を提供し、人道的プロジェクトそして世界平和をもたらす人材育成に取り組んできました。わたしたち第2780地区から「もう一人の奨学生を！」

「年間1人200ドル以上の年次寄付、1クラブ1,000ドル以上の恒久基金、

ポリオプラスに1人40ドル以上」のご寄付をお願いします

〈紙面の都合上、一部抜粋して掲載しています〉

■会長の時間

会長 杉崎 信一

「職業奉仕月間」

先週のクラブフォーラムは50周年記念実行委員会から副実行委員長である中村好孝さんが担当する、友好クラブについて多くの意見をいただきありがとうございました。3月中にはいくつかのクラブがあげられると思いますので楽しみにしましょう。例会後は足立実行委員長に同行しJAXAへの訪問、来年3月の記念講演について打ち合わせを行ってきました。

また、1月25日(土)は奉仕プロジェクト委員会の社会・国際奉仕委員会主催の「地域の外国人と日本人の交流を図る」事業が開催されました。相模原国際交流協会の吉村様にご尽力をいただき交流会に所属する10名の方から参加いただきました。当日は、中澤委員長、松山会員お疲れさまでした。

1月の「RIからのメッセージ」に新会員・職業人について記載がありましたので一読ください。こちらのメッセージは毎月発信されておりますのでご確認ください。

本日は地区の職業奉仕委員会より卓話を準備いただきました。今後の職業奉仕活動がより活発になることと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。

「RIからのメッセージ」

世界中の人びとが、さまざまな理由でロータリーに入会します。「ロータリーはキャリアに大きなプラスとなる」という、私と同じ理由で、毎年多くの新しいロータリアンが入会しています。アラバマ州で新人弁護士としてスタートを切ったとき、私は妻のゲイとともに義父の弁護士事務所のパートナーになりました。ロータリーに入れば、人脈を築くことができ、職業上求められる以上に廉直な価値観を掲げている真摯な職業人だということを潜在顧客に示すことができる、ということを義父に教えられました。

ロータリーの職業奉仕は、事業や職業におけるもっとも厳格な倫理基準、あらゆる有用な職業の尊重、そしてロータリアン一人ひとりの職業を社会に奉仕する機会として重んじる心に基づいています。最後の点は非常に重要です。どんな職業であっても、誠実に、常に四つのテストに従って働けば、誰もが世界に大きく貢献できるのです。

私は会長として、職業人としての生活、家庭人としての生活と、ロータリー活動のバランスをとることを優先事項に挙げています。ボランティアの役職として必要とされる以上の時間を割かねばならないというプレッシャーをロータリアンが感じる事があってはなりません。これにはいくつか理由がありますが、そのひとつは、ロータリーでは、職業人として行う活動も、ロータリーとして行う活動と同じく重要だからです。私たちがいつでもどこにいても、ロータリーの理念は私たちとともにあります。そして、職業上の成功は、職場で働く毎日の中でロータリーの素晴らしさを伝えるものとなるのです。

これは特に、若い人びとをロータリーにいざなう上で大きな意味があります。よいロータリアンであることと、よい親であること、よい事業家であること、よい管理職であること、よい従業員であること。そのいずれかを選ばなければならないようなことのないロータリーをつくりたいのです。多忙な若い世代に入会を求める際、時間や自由を犠牲にすることを求めているわけではありません。ロータリーでの活動は、彼らがすでにしていることが、より一層意味深いものとなるような体験であるべきです。

よりバランスの取れたロータリーには、ほかの利点もあります。ほかのロータリアンやローターアクターが、プロジェクトや委員会でリーダー職を引きうける機会が生まれます。クラブ活動に積極的に参加するようになり、一生ロータリアンであり続けるインスピレーションが得られます。

職業奉仕、および職業上の人間関係の中で私たちが実践する伝統的価値観により、ロータリーは世界中で尊敬を集めています。ロータリーの成長を促す中で、入会見込者への一番のセールスポイントは職業奉仕であることを忘れてはなりません。

ロータリーは世界をつなぎます。そして、ロータリーの職業奉仕をより多くの業種の、よりさまざまなライフステージにある人びとに知らせることで、ロータリーはさらに成長し、より強く、多様になっていくのです。

今週の 情報	本日のプログラム	慶祝
	次会のプログラム	休会
	近隣クラブ例会情報等	

